

スクール・ミッション及び3つの方針

1 期待される社会的役割（スクール・ミッション）

“命に学び 心を育む”教育をとおして、豊かな人間性を涵養するとともに、地域や社会に向き合いながら、農業や関連産業に関する専門的な知識・技術の習得・深化を図り、主体性・協働性・探究心を養うことによって、南信州の持続可能な未来の創り手を育成します。

2 3つの方針

（1）生徒育成方針

- ①「いのちを育み、いのちに学ぶ」教育をとおして、豊かな人間性を涵養するとともに、自分の個性や可能性を認識し、自ら自分を高める「自己教育力」を育てます。
- ②「農業を学ぶ」「農業で学ぶ」教育をとおして、科学性・社会性・指導性を身に付けるとともに、社会に求められる技術・能力を活かす「技術活用力」を育てます。
- ③「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」教育をとおして、郷土愛を育むとともに、地域のリソースを活かし地域と協働しながら地域の課題解決をめざす「課題探究力」を育てます。
- ④「専門的な学び」と「地域での学び」を両立した実践的な学びをとおして、主体的に学びに向かう態度を養うとともに、地域に貢献し未来を創る「地域共創力」を育てます。

（2）教育課程編成・実施方針

- ①学力の基礎・基本を重視し、農業生物の栽培・飼養などの学習を基盤に、各学科・コースの特色や魅力を活かした、社会や時代に求められる専門教育を行います。
- ②専門的な知識・技術の習得と深化・統合化を図れるようカリキュラムマネジメントに取り組み、実験・実習・演習をとおして、体験的・実践的な教育を行います。
- ③持続可能な社会の構築、グローバル化、多様性等の視点からの授業改善や教育活動をとおして、地球規模の視野で考え方地域から行動するグローカル教育を行います。
- ④学びの深まりや広がりに応じ、自ら課題や問い合わせを設定し、プロジェクト学習や農業クラブ活動などをとおして、問題解決に向けて取り組む主体的・探究的な教育を行います。
- ⑤ICTを活用した学習、学習状況に応じた習熟度別学習、進路に応じた科目選択制、コース学習やグループ学習をとおして、個別最適な学びと協働的な学びを推進する教育を行います。
- ⑥南信州を学びのフィールドとし、产学官（企業・団体、保育園・小学校・短大・専門学校、行政機関）との連携や世代を越えた交流などをとおして、社会に開かれた教育を行います。
- ⑦実用的な資格取得や産業現場での実習、就業体験や地域連携活動、ボランティア活動等の多様な機会をとおして、望ましい職業観・勤労観を育み、キャリア形成を促す教育を行います。
- ⑧ホームルーム活動や学校行事、校友会活動、農業クラブ活動、班活動をとおして、自立心や自律性を高め、自治の精神を培い、社会性や指導性を育む教育を行います。

（3）生徒募集方針

- ①植物や動物が好きで、本校で学ぶ農・食・地域・交流・環境などに対して関心をもち、中学校で履修する各教科・科目の基礎学力を有する生徒。
- ②各学科・コースの専門分野に高い関心をもち、専門的な知識・技術の習得や資格取得等に対して意欲的かつ主体的に取り組む生徒。
- ③実験・実習などの実践的・体験的な学びに関心があり、自ら課題意識をもち、他者と話し合い協力しながら、探究的に学ぶ姿勢をもつ生徒。
- ④高校卒業後の進路実現に向けて積極的に取り組み、将来、地域の未来を創るために、農業や関連産業を含む地域産業で活躍することを目指す生徒。